

災害時の医療提供体制の確保に向けた神戸市の取り組み

第4回神戸市歯科口腔保健推進懇話会（令和7年3月11日）

災害時の医療提供体制の確保に向けた神戸市の取り組み

南海トラフ地震のような広範囲に被害をもたらす大規模災害等に備え、災害時の医療提供体制を強化

災害時の体制強化のための取り組み

- ①災害対応病院の全区配置
- ②災害対応病院のバックアップ体制の確保
- ③医療連絡体制の強化

災害時の医療提供体制の確保に向けた神戸市の取り組み

①災害対応病院の全区配置 ②バックアップ体制の確保

- (R6)
- ・ 災害時に各区の拠点病院となる災害対応病院を全区配置（6病院→11病院）
 - ・ 二次救急病院協議会加盟病院、民間病院が災害対応病院をバックアップ支援

災害対応病院11病院（全区配置）

甲南医療センター	（東灘）	済生会兵庫県病院	（北神）
新 六甲病院	（灘）	西市民病院	（長田）
新 神戸労災病院	（中央）	新 神戸医療センター	（須磨）
新 神鋼記念病院	（中央）	神戸掖済会病院	（垂水）
川崎病院	（兵庫）	西神戸医療センター	（西）
新 神戸中央病院	（北）		

バックアップ支援

神戸市第二次救急病院協議会加盟病院
その他民間病院

災害時の医療提供体制の確保に向けた神戸市の取り組み

③医療連絡体制の強化

通信障害が発生した際にも情報共有が可能な体制を整備

(R6)

- ・災害対応病院（11か所：災害時各区の拠点となる病院）、中央市民病院（災害拠点病院）に衛星通信回線（スターリンク）を設置

(R7)

- ・各区本部で発災後急性期に立ち上げる救護所や、関係機関とスムーズな情報連携・連絡調整を行うため、衛星通信回線（スターリンク）を追加設置

①区役所10か所・北須磨支所（各2台：区保健福祉課・拠点となる救護所）

②神戸市医師会（1台）： 救護所で救護活動を行う医療チームの編成
「災害時神戸メディカルチーム（D-Komet）」を担う。

③神戸市薬剤師会（1台）： 医薬品等の調整を行う。

※スターリンク：衛星通信用のアンテナとWiFiルーターがセットになったもの

災害時の医療提供体制の確保に向けた神戸市の取り組み

- 傷病者の症状や緊急度に応じた適切かつ迅速な医療救護を実施

2月8日訓練実施

